

少花粉スギと特定母樹スギの人工交配をしています

日 時： 令和7年2月

場 所： 香川県森林センター 試験室、採種園

採種園では植栽木の間で自然交配することにより優良な種子が生産されるように考えられていますが、実際は外から飛んでくる花粉により交雑していることが分かっています。

交雑を防ぐためと、もともと少ない少花粉品種や特定母樹の花粉を有効活用するために、雄花を除去して雌花だけ残した枝先に袋掛けをして、人工交配を行っています。



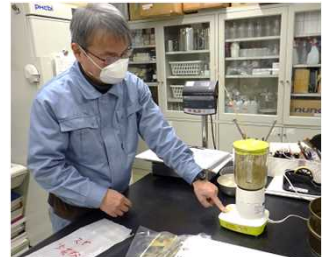
① 雄花が付いている枝先を採取します



② 雄花だけを摘み取ります



③ 約10日間乾燥させます



④ 乾いた雄花をミキサーで粉砕します



⑤ 細くなりました



⑥ ふるいにかけて花粉を精選します



⑦ 花粉が舞うのでマスクを二重にして着けています



⑧ さらに目の細かいふるいにかけています



⑨ 絵筆を使ってしっかりこします



⑩ 人工交配で使う花粉のできあがりです



⑪ 花粉銃に花粉をセットします



⑫ 実施時期は雌花の開花状況や花粉の飛散状況を見て決めます



⑬ 交配袋の中をのぞくと外からの花粉を防ぐため絞り口の内側に綿が巻かれていました



⑭ 交配袋に花粉銃の針を刺して花粉を注入します



⑮ 針穴を養生テープでふさぎます

花粉の注入は1週間間隔で3回実施します。

こうして授粉した雌花は球果を形成し、収穫された種子は苗木生産業者に販売され、山に植えるスギとして苗木に仕立てられます。